

# アンケート調査の概要

横浜市消防局

## 1 調査の目的

横浜市の救急出場件数は年々増加しており、平成 15 年には 15 万 3 千件を超え、10 年前の約 1.6 倍になっている。

また、この 10 年間の傷病程度別搬送人員を見ると、軽症者の増加率が 92.4% と最も高くなっており、このことが救急件数の増加に大きく影響していると言える。

そこで、今後の救急業務のあり方等を検討するためのデータとするために横浜市民を対象としたアンケート調査を実施した。

## 2 調査設計

- (1) 調査地域：横浜市全域
- (2) 調査対象：20 歳以上の男女
- (3) 標本数：3,600
- (4) 抽出方法：住民基本台帳より 3 段階の年齢層に分け、2 層無作為抽出
- (5) 調査方法：住民基本台帳より抽出した名簿により、アンケート用紙及び返信用封筒を手交
- (6) 配付期間：平成 16 年 9 月 6 日から同年 9 月 17 日
- (7) 回収期間：平成 16 年 9 月 7 日から同年 9 月 30 日

## 3 回収結果

- (1) 回収数：2,018
- (2) 回収率：60.0%

## 4 集計結果について

- (1) 百分比は、各項目の有効回答数を 100% として算出し、図表の数字は全て小数点第 2 位を四捨五入してある。比率の合計が必ずしも 100% にならない場合がある。
- (2) 質問は、複数回答可外は 1 つだけの回答要求とした。

## 5 仮想状況について（問 13 から問 24 の説明）

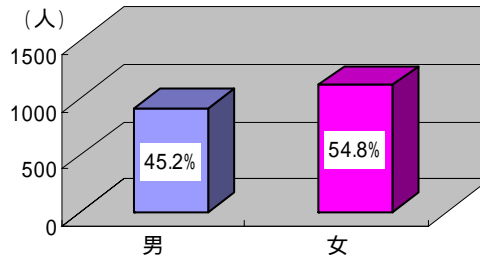
仮に救急搬送を有料とした場合、その価格が利用者にあたえる影響を検証するため、6 つの仮想状況を提示し、救急車を呼ぶかどうかを Yes/No 形式で尋ねた。これら、6 つの仮想状況は、配付した方すべてに同じものを提示したが、救急車の利用料金のみ異なる金額を提示した。救急車の利用料金は、0 円、1,000 円、3,000 円、5,000 円、10,000 円、20,000 円、30,000 円、50,000 円の 8 種類であり、全体の 8 分の 1 ずつにそれぞれの金額を提示した。

## 集 計 結 果

問1. あなたの性別をお答えください。

女性の回答者の方が、約1割多かった。(有効回答数 2,012)

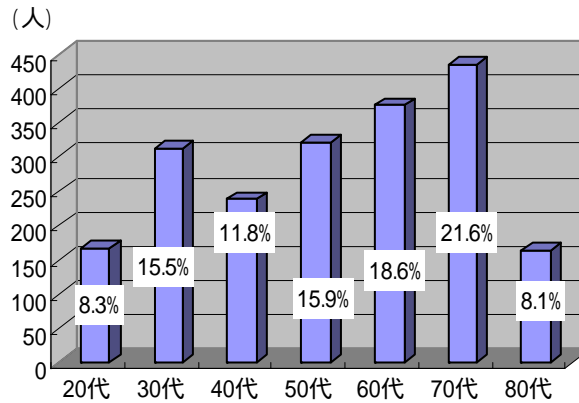
	人数
男	909
女	1,103



問2. あなたの年齢は、おいくつですか。

年代ごとに比べてみると、高齢者の方の回答率が高かった。(有効回答数 2,013)

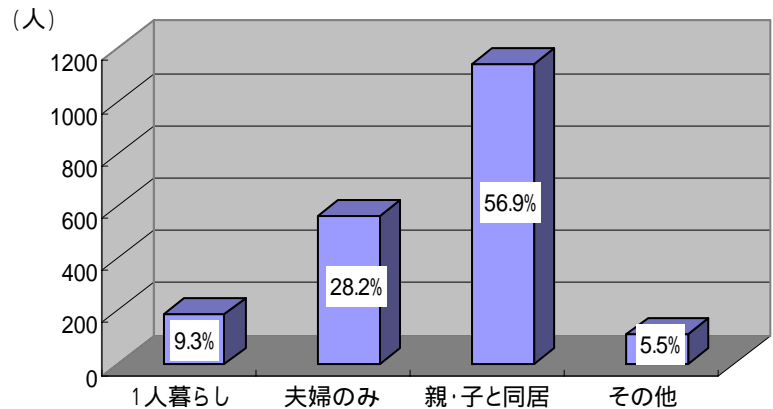
	人数
20代	167
30代	313
40代	238
50代	321
60代	375
70代	435
80代	164



問3. 家族構成をお答えください。

親と同居・子と同居の割合が高かった。(有効回答数 2,001)

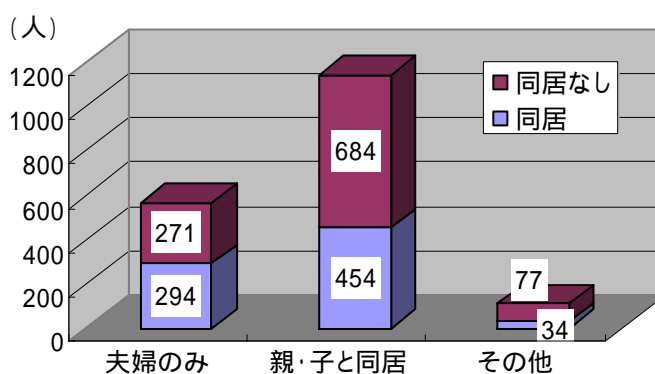
	人数
1人暮らし	187
夫婦のみ	565
親・子と同居	1,138
その他	111



問4. 同居のご家族に高齢者（65歳以上）の方はいらっしゃいますか。

問3で回答いただいた世帯ごとに高齢者のいる割合を集計した。夫婦のみの世帯では、約半数が配偶者が高齢者であった。

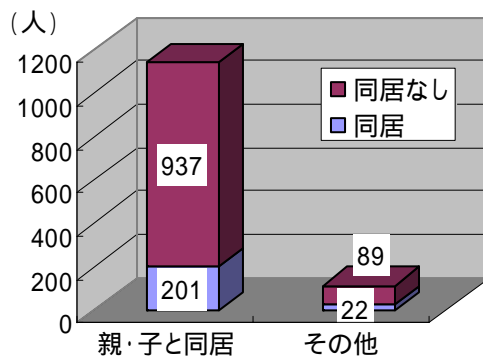
	同居数	世帯全体の人数	割合
夫婦のみ	294	565	52.0%
親・子と同居	454	1,138	39.9%
その他	34	111	30.6%



問5. 同居のご家族にお子様（5歳以下）はいらっしゃいますか。

問3で回答いただいた世帯ごとにお子様のいる割合を集計した。5歳以下のお子さんと同居の割合は少ないことがわかった。

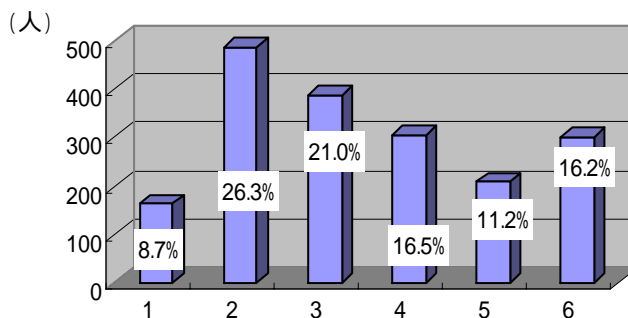
	同居数	世帯全体の人数	割合
親・子と同居	201	1,138	17.7%
その他	22	111	19.8%



問6. 昨年1年間の世帯の収入はおいくらですか。同居されている世帯の収入合計をボーナスや年金も含めて、税込みでお答えください。

年収200万円以上400万円未満の世帯が一番多かった。(有効回答数 1,854)

	年収	人数
1	200万円未満	162
2	200以上400万円未満	488
3	400以上600万円未満	389
4	600以上800万円未満	306
5	800以上1000万円未満	208
6	1000万円以上	301

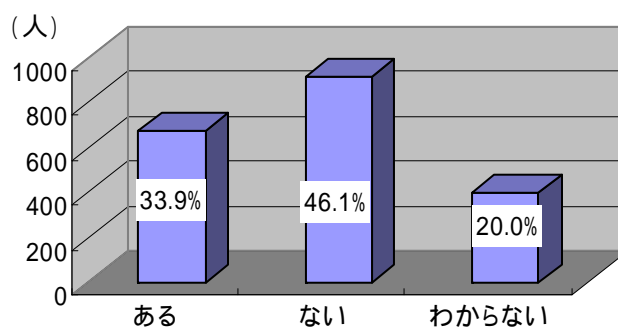


問7. 徒歩圏内に夜間・休日でも受診可能な病院(医院・診療所含む)はありますか。

「ない」と回答した方が、「ある」と回答した方より多かった。

(有効回答数 1,986)

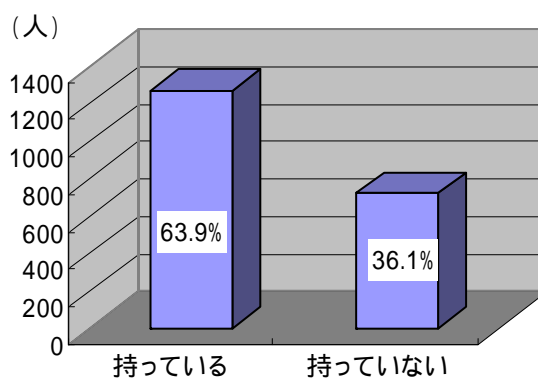
	人数
ある	674
ない	915
わからない	397



問8. 病院に行くのに使用できる車をお持ちですか。

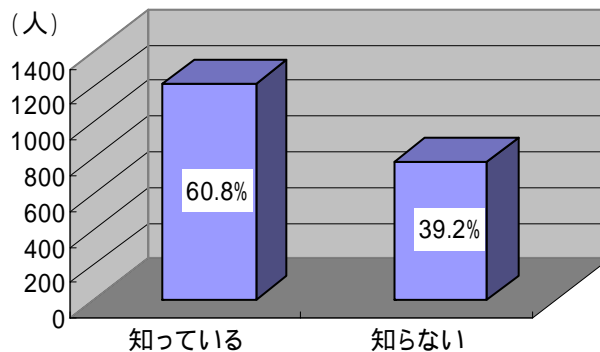
持っている人の方が多かった。(有効回答数 1,994)

	人数
持っている	1,274
持っていない	720



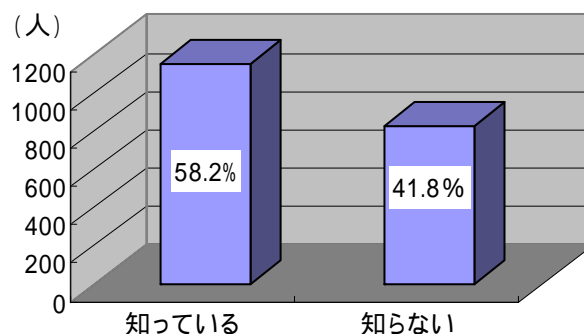
問9. 現在お住まいの区にある休日急患診療所をご存知ですか。  
 「知っている」人の方が多かった。(有効回答数 1,994)

	人数
知っている	1,212
知らない	782



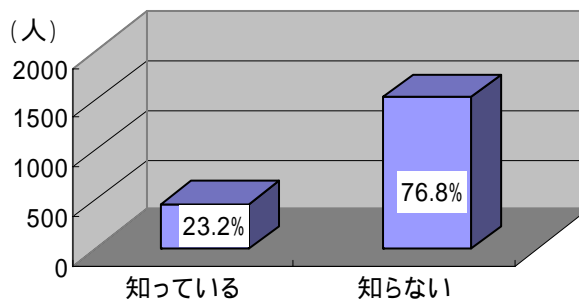
問10. 横浜市の夜間急病センターをご存知ですか。  
 「知っている」人の方が多かった。(有効回答数 1,989)

	人数
知っている	1,157
知らない	832



問11. 病院を紹介してくれる横浜市救急医療情報センターをご存知ですか。  
 「知らない」人の方が多かった。(有効回答数 1,990)

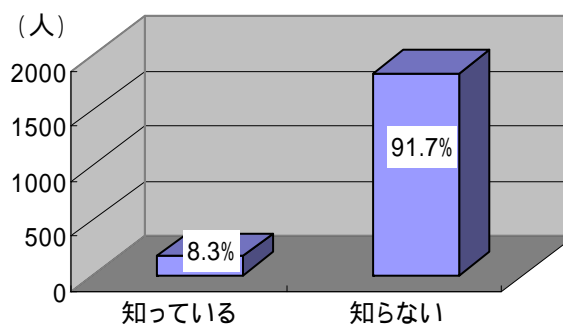
	人数
知っている	461
知らない	1,529



問12. 横浜市内には、民間で運営している救急患者を搬送するサービスがありますが、ご存知ですか。

約9割の人が「知らない」と回答している。(有効回答数 2,003)

	人数
知っている	166
知らない	1,837

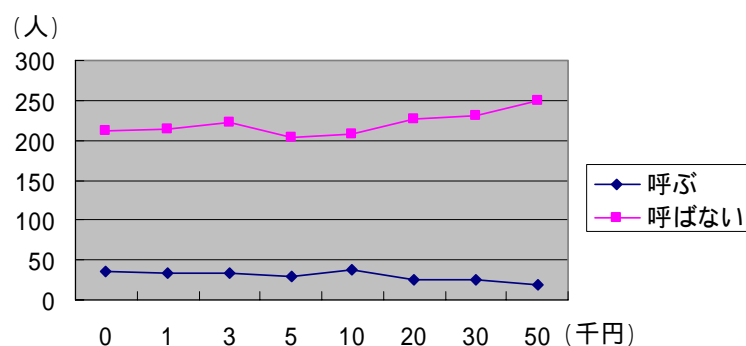


仮想状況 1 朝 6 時ごろ、あなたは、階段を踏み外して、階段から落ちてしまいました。足に痛みがあります。なんとか歩行は可能です。

問13. 救急車を呼びますか。

「本人軽症」の場合には、どの金額でも呼ばない人の方が多かった。さらに、金額が高くなると、「呼ばない」と回答した人が増加している。

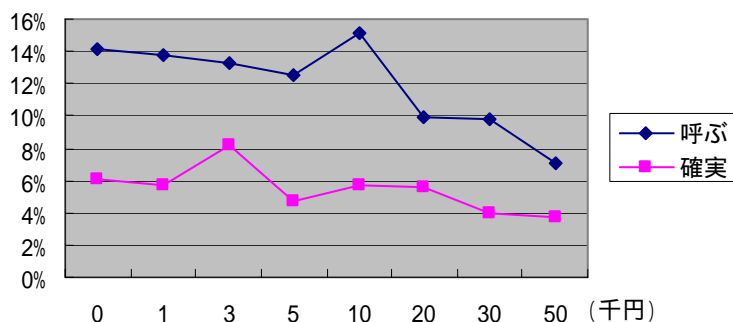
金額	呼ぶ	呼ばない
0 円	35	212
1,000 円	34	213
3,000 円	34	223
5,000 円	29	203
10,000 円	37	207
20,000 円	25	226
30,000 円	25	230
50,000 円	19	249



問14. 問 13 で、「1.呼ぶ」と回答された方にお聞きします。それは、「たぶん」ですか。「確実に」ですか。

支払う金額が、2 万円以上になると「呼ぶ」と回答した人が減少するが、確実性はあまり変化がなかった。

金額	全体	呼ぶ	確実に呼ぶ
0 円	247	35 (14.2%)	15 (6.1%)
1,000 円	247	34 (13.8%)	14 (5.7%)
3,000 円	257	34 (13.2%)	21 (8.2%)
5,000 円	232	29 (12.5%)	11 (4.7%)
10,000 円	244	37 (15.2%)	14 (5.7%)
20,000 円	251	25 (10.0%)	14 (5.6%)
30,000 円	255	25 (9.8%)	10 (3.9%)
50,000 円	268	19 (7.1%)	10 (3.7%)

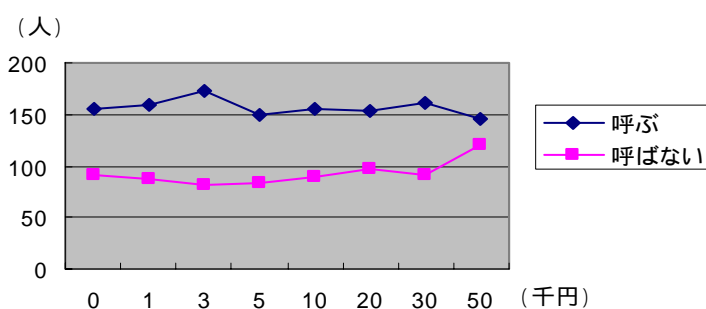


仮想状況 2 朝 6 時ごろ、あなたは、胸から肩のあたりにかけて、冷や汗が出るような強い不快感を感じました。症状が次第に強くなってきています。

問15. 救急車を呼びますか。

「本人重症」の場合には、どの金額でも「呼ぶ」と回答した人が多かった。しかし、5万円になると「呼ばない」人が急増している。

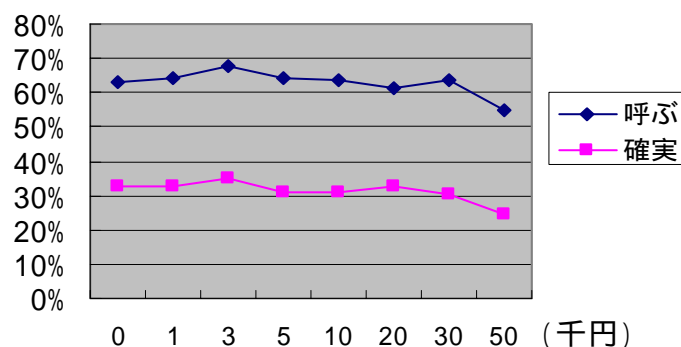
金額	呼ぶ	呼ばない
0 円	155	91
1,000 円	160	88
3,000 円	173	82
5,000 円	149	84
10,000 円	155	89
20,000 円	153	97
30,000 円	162	92
50,000 円	146	121



問16. 問 15 で、「1.呼ぶ」と回答された方にお聞きします。それは、「たぶん」ですか。「確実に」ですか。

どの金額でも、「呼ぶ」と回答した人の約半数が「確実に」と回答している。

金額	全体	呼ぶ	確実に呼ぶ
0 円	246	155 (63.0%)	81 (32.9%)
1,000 円	248	160 (64.5%)	81 (32.7%)
3,000 円	255	173 (67.8%)	89 (34.9%)
5,000 円	233	149 (63.9%)	72 (30.9%)
10,000 円	244	155 (63.5%)	76 (31.1%)
20,000 円	250	153 (61.2%)	82 (32.8%)
30,000 円	254	162 (63.8%)	77 (30.3%)
50,000 円	267	146 (54.7%)	66 (24.7%)



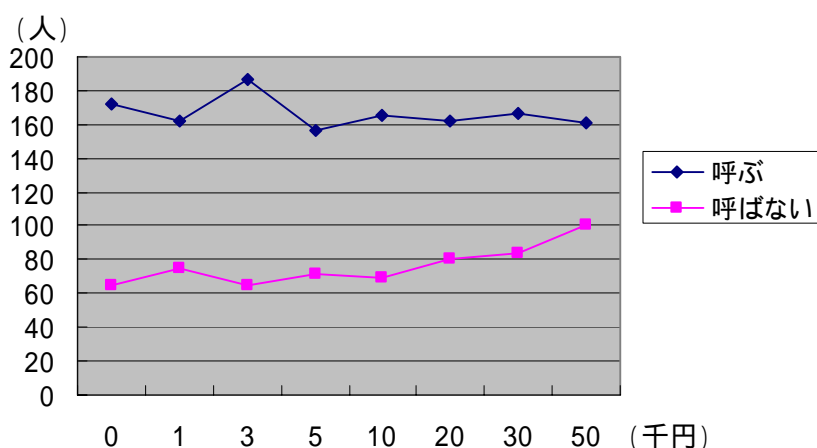


**仮想状況 3** 夜 8 時ごろ、同居しているお子さんが、お腹を強く痛がりました。嘔吐も見られ、痛みも強くなってきているようです。

問17. 救急車を呼びますか。(同居しているお子さんがいない場合でも、「いる」と思ってお答えください。)

「子供重症」の場合には、呼ぶと回答した人の方が多かった。しかし、5 万円になると「呼ばない」人が急増している。

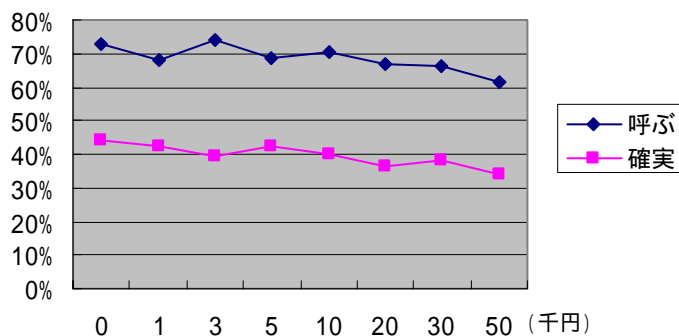
金額	呼ぶ	呼ばない
0 円	172	65
1,000 円	162	75
3,000 円	187	65
5,000 円	156	71
10,000 円	165	69
20,000 円	162	81
30,000 円	166	84
50,000 円	161	101



問18. 問 17 で、「1.呼ぶ」と回答された方にお聞きします。それは、「たぶん」ですか。「確実に」ですか。

どの金額でも、「呼ぶ」と回答した人の半分以上の人が「確実に」と回答している。

金額	全体	呼ぶ	確実に呼ぶ
0 円	237	172 (72.6%)	105 (44.3%)
1,000 円	237	162 (68.4%)	101 (42.6%)
3,000 円	252	187 (74.2%)	100 (39.7%)
5,000 円	227	156 (68.7%)	96 (42.3%)
10,000 円	234	165 (70.5%)	94 (40.2%)
20,000 円	243	162 (66.7%)	89 (36.6%)
30,000 円	250	166 (66.4%)	95 (38.0%)
50,000 円	262	161 (61.5%)	89 (34.0%)

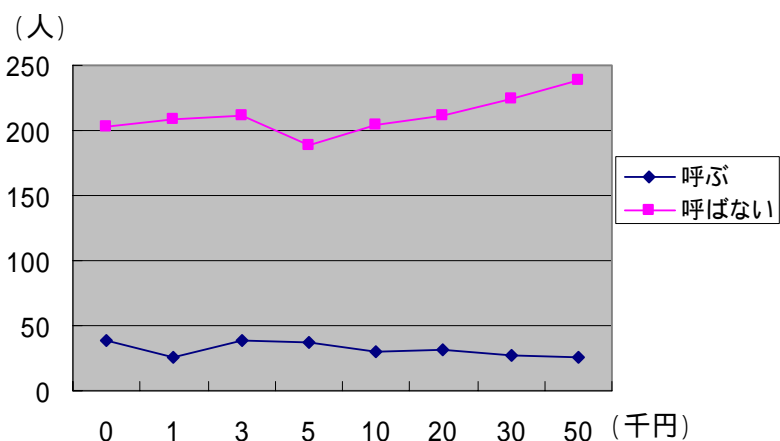


**仮想状況 4** 同居しているお子さんに、朝から咳と鼻水の症状がありました。買い置きのお薬を飲ませましたが、夜 8 時ごろになっても症状がとれません。

問19. 救急車を呼びますか。(同居しているお子さんがいない場合でも、「いる」と思ってお答えください。)

「子供軽症」では、呼ばないと回答した人が多かった。

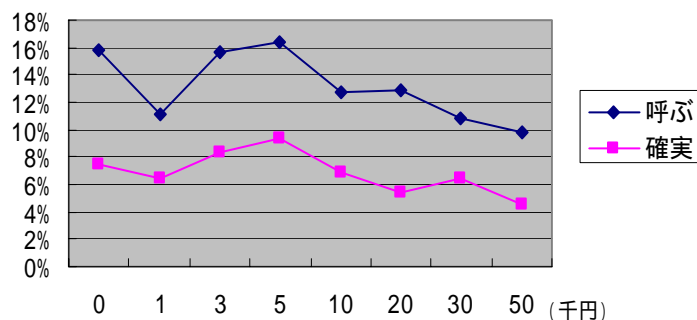
金額	呼ぶ	呼ばない
0 円	38	203
1,000 円	26	208
3,000 円	39	211
5,000 円	37	188
10,000 円	30	205
20,000 円	31	211
30,000 円	27	224
50,000 円	26	238



問20. 問 19 で、「1.呼ぶ」と回答された方にお聞きします。それは、「たぶん」ですか。「確実に」ですか。

「本人軽症」に比べると、「子供軽症」の方が、「呼ぶ」率も「確実に」率も高かった。

金額	全体	呼ぶ	確実に呼ぶ
0 円	241	38 (15.8%)	18 (7.5%)
1,000 円	234	26 (11.1%)	15 (6.4%)
3,000 円	250	39 (15.6%)	21 (8.4%)
5,000 円	225	37 (16.4%)	21 (9.3%)
10,000 円	235	30 (12.8%)	16 (6.8%)
20,000 円	242	31 (12.8%)	13 (5.4%)
30,000 円	251	27 (10.8%)	16 (6.4%)
50,000 円	264	26 ( 9.8%)	12 (4.5%)

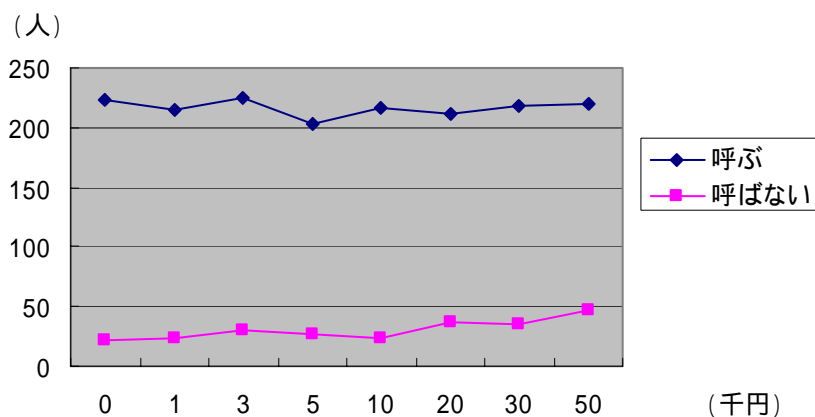


**仮想状況 5** 朝 8 時ごろ、同居しているお年寄りが、下腹部から両足にかけて沸騰したお湯をかけてしまいました。

問21. 救急車を呼びますか。(同居しているお年よりがいない場合でも、「いる」と思ってお答えください。)

「高齢者重症」では、「呼ぶ」人の方が多かった。しかし、2万円から「呼ばない」人が増えてきている。

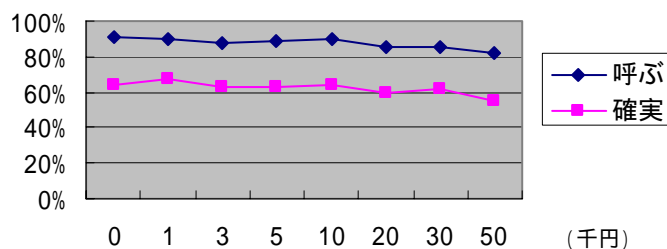
金額	呼ぶ	呼ばない
0円	223	21
1,000円	215	24
3,000円	225	31
5,000円	203	27
10,000円	217	23
20,000円	211	37
30,000円	218	36
50,000円	220	47



問22. 問 21 で、「1.呼ぶ」と回答された方にお聞きします。それは、「たぶん」ですか。「確実に」ですか。

どの金額でも、「呼ぶ」と回答した人の約 7 割が「確実に」と回答している。

金額	全体	呼ぶ	確実に呼ぶ
0円	244	223 (91.4%)	157 (64.3%)
1,000円	239	215 (90.0%)	161 (67.4%)
3,000円	256	225 (87.9%)	161 (62.9%)
5,000円	230	203 (88.3%)	146 (63.5%)
10,000円	240	217 (90.4%)	153 (63.8%)
20,000円	248	211 (85.1%)	147 (59.3%)
30,000円	254	218 (85.8%)	156 (61.4%)
50,000円	267	220 (82.4%)	147 (55.1%)

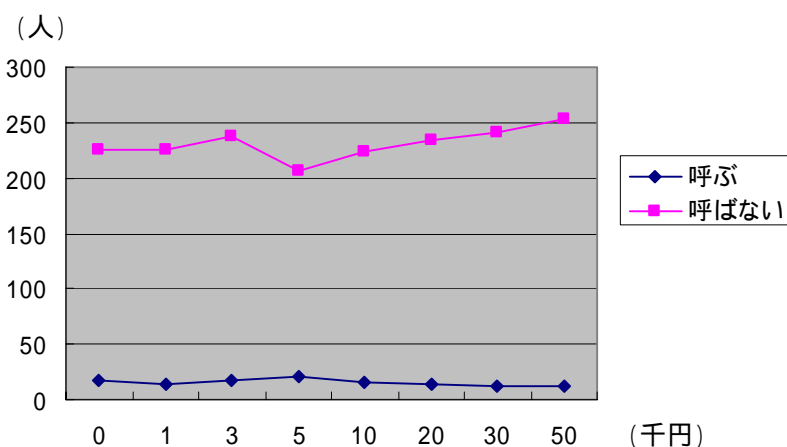


**仮想状況 6** 朝 8 時ごろ、同居しているお年寄りが、かかり付けの病院に行く時間になりました。いつもは誰かが、車で病院まで送っていているのですが、今日は送っていけない人がいません。

問23. 救急車を呼びますか。(同居しているお年よりがない場合でも、「いる」と思ってお答えください。)

「高齢者軽症」では、「呼ばない」と回答した人が多かった。

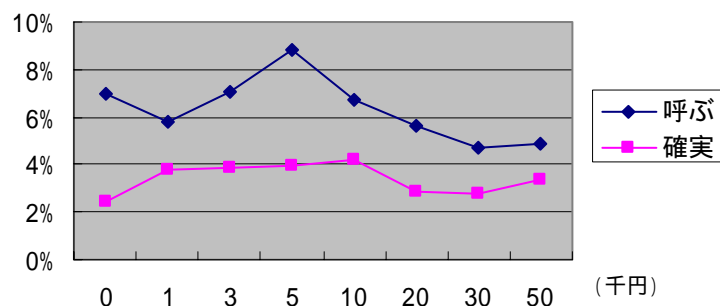
金額	呼ぶ	呼ばない
0 円	17	226
1,000 円	14	226
3,000 円	18	238
5,000 円	20	207
10,000 円	16	223
20,000 円	14	234
30,000 円	12	241
50,000 円	13	254



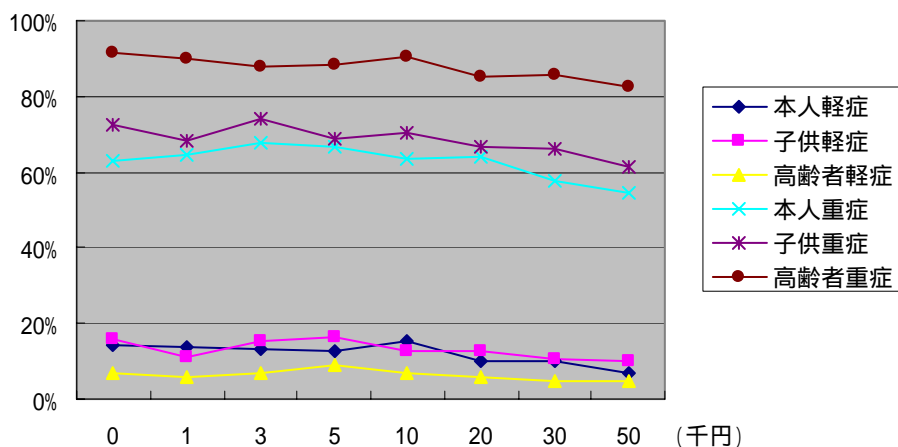
問24. 問 23 で、「1.呼ぶ」と回答された方にお聞きします。それは、「たぶん」ですか。「確実に」ですか。

確実性に大きな差はなかった。

金額	全体	呼ぶ	確実に呼ぶ
0 円	243	17 (7.0%)	6 (2.5%)
1,000 円	240	14 (5.8%)	9 (3.8%)
3,000 円	256	18 (7.0%)	10 (3.9%)
5,000 円	227	20 (8.8%)	9 (4.0%)
10,000 円	239	16 (6.7%)	10 (4.2%)
20,000 円	248	14 (5.6%)	7 (2.8%)
30,000 円	253	12 (4.7%)	7 (2.8%)
50,000 円	267	13 (4.9%)	9 (3.4%)



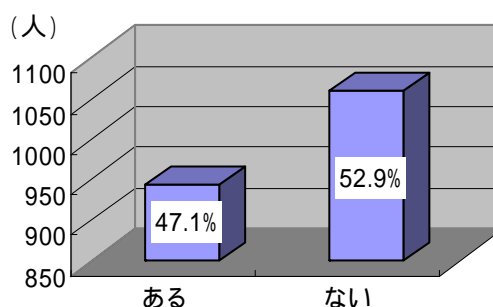
問 13 から問 24 での各仮想状況別に「救急車を呼ぶ」確率を以下のグラフに示す。



問25. あなたは、今までに救急車を呼んだことがありますか。

「ない」と回答した人の方が、多かった。(有効回答数 2,004)

	人数
ある	944
ない	1,060



問26. 問 25 で、「1.ある」と回答された方にお聞きします。それは、どんな時ですか。

下記のような回答だった。(複数回答可)

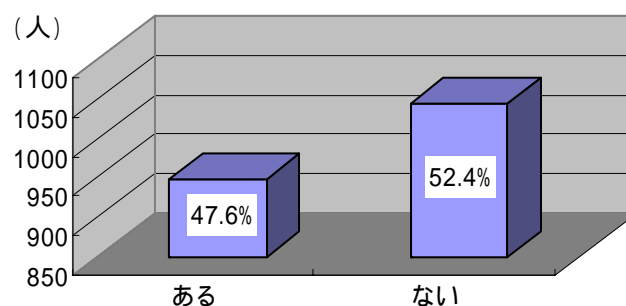
今までに救急車を利用したことがある理由	
一刻でも早い治療が必要と思った時	517
生命に危険があると思った時	401
夜間・休日で診療時間外だった時	187
入院の必要とするケガ・病気と思った時	176
ケガ・病気が軽い症状か重い症状かの判断がつかなかった時	166
交通手段がなかった時	52
外出中の急病・ケガで病院が分からなかった時	44
どの病院に行くのか分からなかった時	31
その他	105

問27. 問 25 で、「2.ない」と回答された方にお聞きします。それは、なぜですか。  
 下記のような回答だった。(複数回答可)

今までに救急車を利用したことない理由	
救急車を呼ぶような病気やケガがなかったから	786
自家用車や公共の交通手段を利用したから	376
近くに対応できる病院があったから	143
救急医療情報センターに病院を紹介してもらったから	54
その他	40

問28. あなた自身もしくは家族のために、救急車を呼ぶことにためらいはありますか。  
 「ない」と回答した人が多かった。(有効回答数 1,993)

	人数
ある	949
ない	1,044



問29. 問 28 で、「1.ある」と回答された方にお聞きします。それは、なぜですか。  
 下記のような回答だった。(複数回答可)

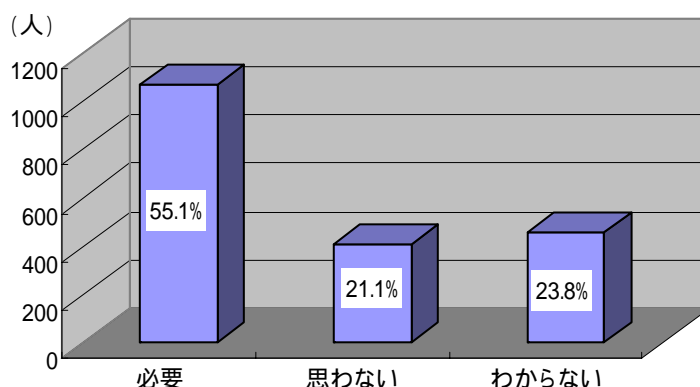
呼ぶのをためらう理由	
救急車を呼ぶほどのケガ・病気なのか分からないから	623
サイレンの音が近所迷惑になるから	314
救急車を呼んだことを近所に知られるのがいやだから	306
救急隊員の手をわずらわせたくないから	188
行きたい病院に運んでくれないから	180
その他	65

平成 15 年の救急件数は約 15 万 3,000 件で、この 5 年間で、年間平均 6,000 件ずつ増えていきます。また、横浜市の平成 15 年度の救急隊運営経費は約 64 億円です。これは、救急車の出動 1 回あたり約 4 万円かかっていることになります。この運営費は、今後、救急出場件数が増加するに伴い、さらに上昇することが予想されています。そこで、お伺いいたします。

問30. 救急出動件数を減らす対策が必要だと思いますか。

約半数の人が、「必要」と回答している。(有効回答数 1,938)

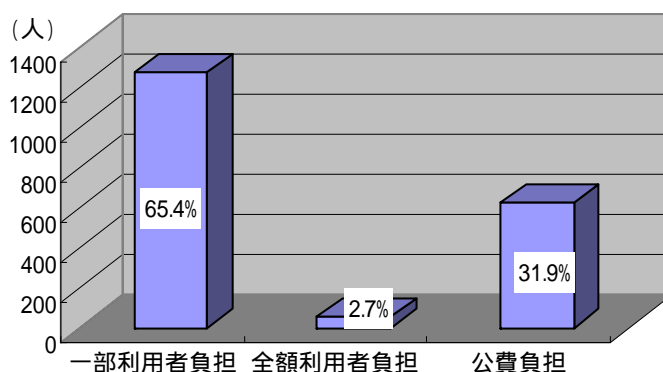
	人数
必要だと思う	1,068
必要だと思わない	409
わからない	461



問31. 現在、救急隊の運営費は、すべて公費(税金)で負担していますが、今後はどのような形でまかなわれるべきだと思いますか。

「一部負担」と回答した人が、約 65%と多かった。(有効回答数 1,954)

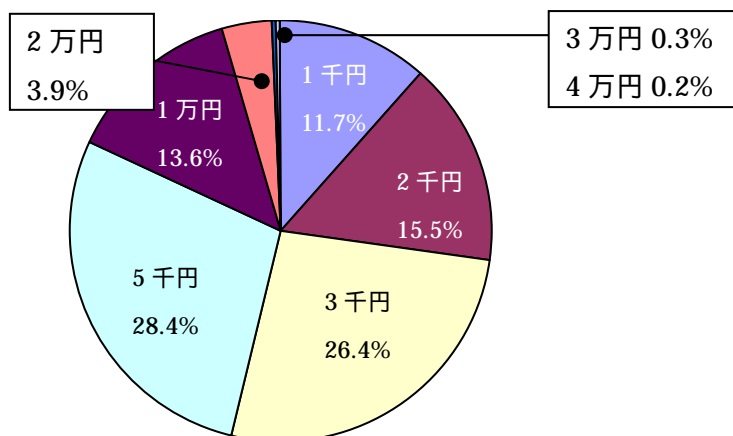
	人数
一部利用者負担	1,277
全額利用者負担	53
公費負担	624



問32. 問 31 で、「1.利用者が一部負担すべき」と回答された方にお尋ねします。利用者負担はいくぐらいが適当だと思いますか。

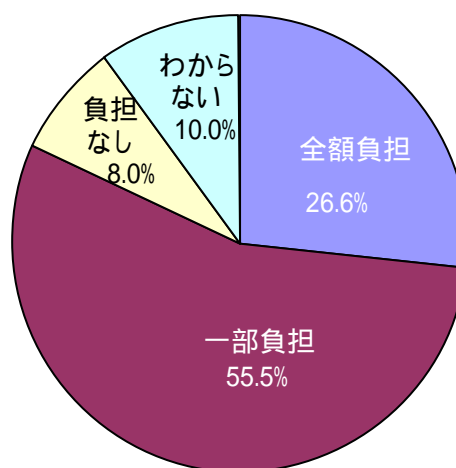
3 千円・5 千円と回答した人が多かった。(有効回答数 1,267)

	人数	割合
1 千円	148	11.7%
2 千円	197	15.5%
3 千円	334	26.4%
5 千円	360	28.4%
1 万円	172	13.6%
2 万円	49	3.9%
3 万円	4	0.3%
4 万円	3	0.2%



問33. 緊急性のない軽い症状だった場合、その救急搬送にかかった費用を利用者に負担してもらおうことについてどう思いますか。(有効回答数 1,902)

	人数	割合
全額負担	505	26.6%
一部負担	1055	55.5%
負担なし	152	8.0%
わからない	190	10.0%

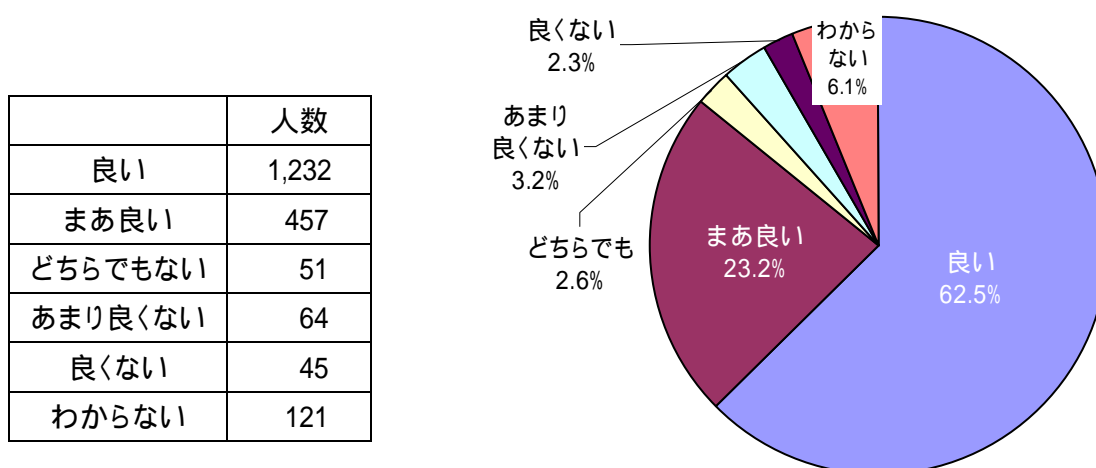




救急車には、高規格救急車（全ての症状に対応）と、標準救急車（軽い症状と思われる患者さん対象）があります。現在、横浜市では、高規格救急車のみを使用していますが、今後は、標準救急車の導入を検討しております。また、119番通報時点で、医師及び救急救命士（救命処置等の応急処置ができる資格をもつ職員）からなる救急管制チームが状況をうかがって、高規格救急車を出動させるべきか、標準救急車を出場させるべきかの判断をさせていただければと思っております。そこで、お伺いいたします。

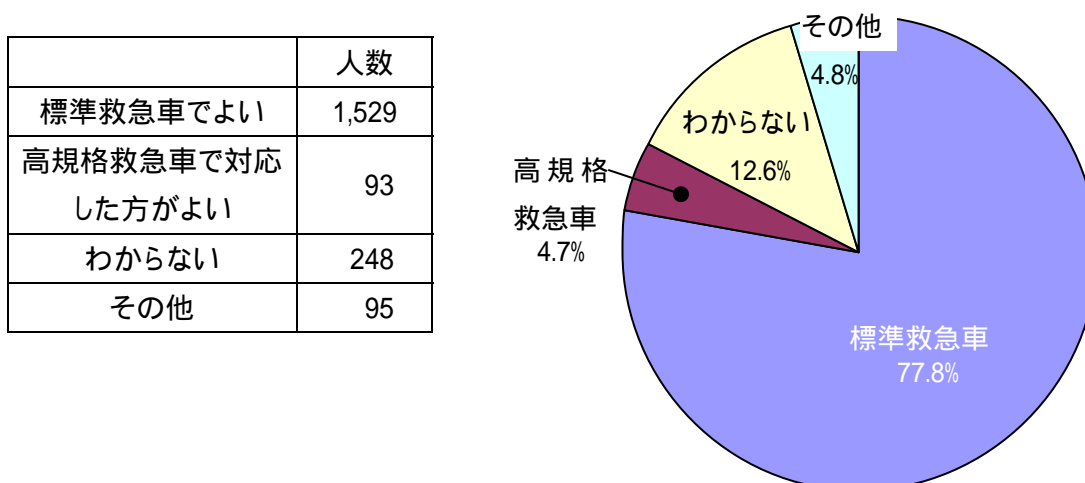
問34. 119番通報時点で、医師及び救急救命士からなる救急管制チームが判断することについてどう思いますか。

8割以上の方が、「良い」「まあ良い」と回答している。（有効回答数 1,970）



問35. 軽い症状と思われる患者さんに対して、標準救急車が出動することをどう思いますか。

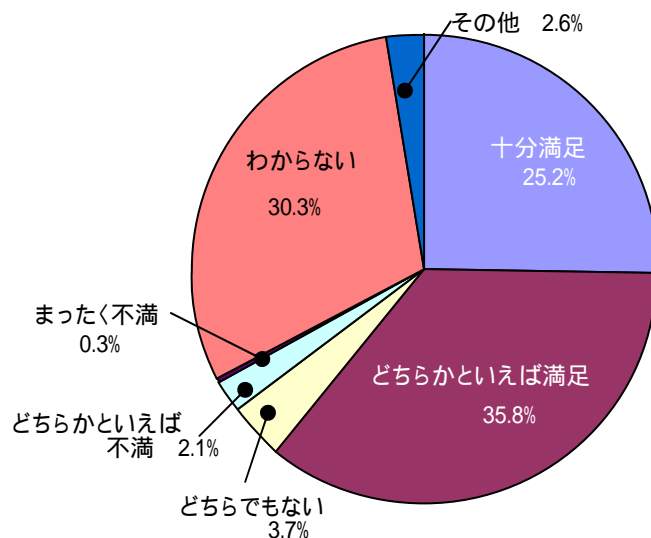
「標準救急車でよい」と回答した人が、約8割だった。（有効回答数 1,965）



問36. 現在行われている救急隊による搬送業務は、市民にとって満足できるものだと思いますか。

「十分満足」「どちらかといえば満足」と回答した人が、約6割だった。  
 (有効回答数 1,960)

	人数
十分満足	493
どちらかといえば満足	702
どちらでもない	73
どちらかといえば不満	42
まったく不満	6
わからない	594
その他	50



問37. 救急に関して、改善してほしい項目はありますか。  
 下記のような回答だった。(複数回答可)

改善項目	
高度な救急処置のできる隊員の増加	794
119番通報時に電話で応急処置の指示	733
女性救急隊員の増加	533
119番通報から到着までの時間	468
サイレンのボリューム(音量)	452
救急車到着から出発までの時間	296
救急に関する相談	275
救急車の乗り心地	108
特になし	287
その他	148

問38. 欧米では、到着時間の短縮や経費削減のため、救急車の待機場所として路上やスーパーの駐車場を使用しています。また、その車内で休憩や食事などを行っています。この事についてどのように思いますか。

「到着時間や経費削減になるのであれば、これも仕方ない」と回答した人が約6割だった。(有効回答数 1,939)

	人数
待機場所必要	492
仕方ない	1,186
わからない	261

